

研修報告書No.5

所 属：県外病院研修医

研修先：特定医療法人長生会 大井田病院
医療法人聖真会 渭南病院

私は、2年目の4月に高知県の最西端、宿毛市にある大井田病院、最南端土佐清水市にある渭南病院にて研修させて頂きました。当院では地域研修の選択先として多数の病院がある中で私が高知県幡多地域での研修を選択した理由は大自然に囲まれたこの地域では医師が患者とどのように向き合っているかに興味が湧いたことやこのプログラムに組み込まれている離島の診療所での診療が大変魅力的だと感じたからです。

期待に胸を膨らませ病院に到着するとまず驚いたのは100床近い病院で救急車の受け入れ、手術も行っているにも関わらず常勤医が5名しかいないことです。高知県では医師の人数は人口比で見るとそこそこいますが、高知市内に病院が集中しており、地域には医師がまだまだ不足しています。幡多地域から高知市内に出るまで車で2時間近くかかり、高齢化が進むこの地域では患者にとっては体調が悪くなったら大井田病院、渭南病院しか頼ることができないのです。そんな背景もあり様々な症状を訴える患者が毎日病院へ足を運びます。自分が目の前の患者を診察しなければ、患者は他に行き場所がない状況は、自分の知識や腕が試され、非常にいい環境だと思いました。私もギプス固定、関節注射と整形外科領域から始まり疣贅の液体窒素治療まで様々なマイナーエマージェンシーを実際に経験することができました。先生方が地域医療を学ぶために組まれたプログラムの内容は大変充実しておりました。普段行っている外来、病棟業務に加えて、訪問看護、訪問診療、保健所研修、保育園での健診、離島での診療所研修などがありました。中でも一番印象的だったのは訪問診療です。実際に患者の生活空間に触れ、個人の生活環境に見合った医療が提供されており、都心よりも患者と医師との距離が近く、厚い信頼関係で成り立っている印象を受けました。どちらの病院も経験豊富な指導医に恵まれ、あたたかい職員さんに囲まれ非常に充実した1か月間を過ごすことができました。もちろん仕事だけではなく、仕事が終わると先生方にご飯に連れて行って頂き、カツオやサバといった名産品に舌鼓を打ちながら人生の相談にも乗っていただいたりもしました。多忙な日々の中でここまでのホスピタリティがあり幡多地域での研修が人気なのも納得でした。

地域研修では病院で働くだけでなく、その地域を知るということも大事だと思い、休暇には四万十川へ行ったり道後温泉、高松まで足をのばしたりしました。時間に追われず自分を見返すいい機会だと思います。これからの皆さんも是非幡多地域でしか経験できない充実した地域研修を送ってください！！